



多摩交流センターだより

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

檜原村お祭り見学会～郷土芸能と保存会の想いに触れる～

- 日 時

① 8月28日(土)11:10～16:00 頃
② 9月11日(土)18:40～23:00 頃
(終了が深夜になる場合がありますのでご注意ください。)
(いずれも主催者等の都合や新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性あり、詳しくは下記問合せ先へ。)
- 場 所

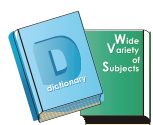
檜原村各集落の祭り会場
(集合・解散は「檜原村教育の森」もしくは「エコツーリズムインフォメーションセンター」)
- 内 容

三匹獅子舞 神代神楽
都指定の無形民俗文化財にもなっている、檜原村の郷土芸能に触れる見学会を開催します。
- 参加費

3,000 円
(交通機関の関係で宿泊が必要な方は別途ご相談ください。)
- 主 催

檜原学芸社
- 問合せ

檜原学芸社 担当 熊野・小澤
TEL 042-598-6928 (NPO 法人フジの森内)
E-mail hinohara-gakugeisha@outlook.jp



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2021 年 9 月講義案内

※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

(受講料：会員は無料・会員以外は 1 回につき 500 円)

日 時	講義テーマ	教 授	教 場
9月2日(木) 14:00から	天平の“巨大な夢”と万葉の心	星野 信夫 氏 (国分寺市観光協会会長・前国分寺市長)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩 7 分)
9月9日(木) 14:00から	千葉県佐倉高等学校鹿山文庫について ー幕末佐倉藩校由来についてー	大澤 真澄 氏 (東京学芸大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR 武蔵小金井駅南口 徒歩 7 分 小金井商工会館 3F)
9月16日(木) 14:00から	外国人の日本観光 1 5 0 年史	内田 宗治 氏 (フリーライター・ 元ブルーガイドシリーズ編集長)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR 武蔵小金井駅南口 徒歩 7 分 小金井商工会館 3F)
9月23日(木) 14:00から	享保十八年の疫病流行	松尾 美恵子 氏 (学習院女子大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR 武蔵小金井駅南口 徒歩 7 分 小金井商工会館 3F)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

【問合せ先】TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、9 月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

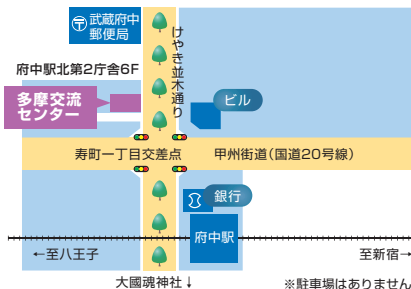
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第 2 庁舎 6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>
(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



理事会・評議員会を開催しました

2021 年 5 月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容をご紹介します。

2020年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました。)

※下記の内容(一部を除く)は、当調査会ホームページ(<https://www.tama-100.or.jp>)にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

- 市町村の広域的・共通の課題についての調査研究
(5 テーマについて調査研究報告書を発行)
 - 自治体における長期休暇取得等に伴う生産性維持に関する調査研究
 - 多摩・島しょ地域自治体における SDGs に関する調査研究
 - 社会的課題の解決に向けた PFS/SIB の活用に関する調査研究
 - 自治体における効果的な情報発信媒体に関する調査研究
 - 基礎自治体におけるひきこもりの支援に関する調査研究
- 市町村職員の身近な疑問等に関する調査
(情報提供誌「ニュース・レター」に掲載)
「かゆいところに手が届く! 多摩・島しょ自治体お役立ち情報」
- 毎年度実施の調査(4 件の調査報告書を発行)
 - 多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～2020(令和 2)年版
 - 多摩地域ごみ実態調査 2019(平成 31・令和元)年度統計
 - 市町村財政力分析指標(平成 22 年度から平成 31・令和元年度まで)
 - 市町村税政参考資料(平成 22 年度から平成 31・令和元年度まで)

2. 共同事業

- 多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業
- みどり東京・温暖化防止プロジェクト

3. 普及啓発事業

- 出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)
- シンポジウム「自治体職員も副業・兼業の時代! ～役所はどう変わる? 地域はどう変わる?～」開催
- 情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- 機関紙「ぐるり 3 9 ～自治調査会だより～」発行

4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

- 交流の場の提供
- 広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- 生涯学習講座開催(TAMA 市民塾との共催)
- 多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】(貸借対照表)

	資産の部	負債・正味財産の部
流動資産	141,739 千円	負債の部 29,170 千円
固定資産	4,568,302 千円	指定正味財産 3,790,000 千円
		一般正味財産 890,871 千円
合計	4,710,041 千円	4,710,041 千円

編集後記

- コロナ禍で迎える 2 回目の 8 月となりました。コロナ収束の決定打と言われるワクチン接種が進められていますが、マスク着用が必要ない日常に戻るまではもう少し時間がかかるようです。高温・多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクがより高まるので、こまめに水分補給するなど対策を講じることが重要です。
- 8 月は一年で最も平均気温が高く、最高気温も 8 月に集中しています。気象庁の過去のデータを見てみると、最高気温の上位 10 位のうち 9 回が 8 月で、そのうち 8 回が 2010 年以降となっています。地球温暖化がはじめて問題となったのは 1988 年(昭和 63 年)といわれており、それ以降、地球温暖化が原因とされる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの抑制などの取組が進められてきましたが、温暖化に歯止めが掛かっていない状況が顕著に表れています。
- 世界の平均気温は 19 世紀後半に比べ既に約 1℃上昇していますが、1℃の上昇だけでも世界各地で気候変動による甚大な被害をもたらす異常気象が頻発しています。仮に気温上昇が 19 世紀後半に比べ 2℃を超えた場合、これまで以上に人間への健康被害や洪水被害、干ばつによる水・食料不足、貧困や紛争、経済的打撃など多大な影響があると警告されています。特に発展途上国の貧しい人々への影響はより深刻だと言われます。そのためによりリスクの低い 1.5℃に抑えるために、2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して各国の取組が進められています。
- ところで気候変動がコーヒーに及ぼす 2050 年問題をご存知

でしょうか。コーヒーは赤道付近のいわゆるコーヒーベルトと呼ばれる地域で主に栽培・収穫されています。コーヒー豆の中で最も多く生産されているのが「アラビカ種」ですが、気候変動の影響を特に受けやすく、2050 年までに生産量が現在の 50%までに落ち込むと予想されています。これがコーヒーの 2050 年問題と言われています。

- コーヒーベルトから少し離れますが、東京都の小笠原諸島と沖縄でも「アラビカ種」のコーヒーを栽培しています。なかでも小笠原は、国産コーヒー発祥の地です。1878 年頃、日本で初めてコーヒーの栽培が試みられ、太平洋戦争敗戦によるアメリカ統治下から返還された 1968 年以降に野生化したコーヒーの木を発見し栽培が始められ現在に至っており、年間数百キロ生産されています。小笠原島内や都心部でも提供する店があるようです。軽めのコーヒーなのでアメリカンコーヒー派の他、紅茶派の方にもお勧めです。
- 去る 6 月 29 日に、今年度から当調査会で実施する「オール東京 62 気候変動対策研究会」の最初の活動として「62 市区町村ミーティング」を開催しました。今後、「緩和策」と「適応策」の 2 つの分科会に分かれ事業を展開していきます。気候変動対策は、SDG s(持続可能な開発目標)にも掲げられている喫緊の課題です。この活動を、少しでも地球温暖化の抑制に繋げていきたいと考えます。そして、コーヒーブレイクを楽しむためにも、気候変動対策を意識した行動を重ねていきたいと思っています。(K. K)